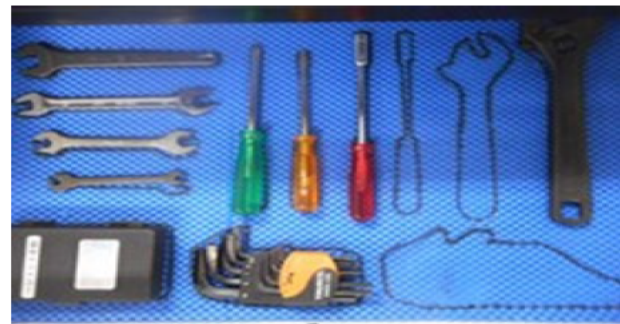


# 見える化

## 「保管工具の見える化」

工具の取扱頻度が低い従業員には、工具の使用用途、名称が分からない方が多数いる。そのため工具を収納する引き出しに、使用工具の用途（切る・回す・叩くなど）、名称、収納の「あるべき姿」を表示したことで、取扱頻度の低い従業員にも分かり易く、常日頃からの整理整頓もできるようになった。

### A：表示と保管状況



使用時

### B：引き出しのあるべき姿写真



引き出しにあるべき姿の写真を掲示したことで、常に整理整頓されている。